

1 商品などの内容(当社は、組成会社などの委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています)

金融商品の名称・種類	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド(愛称:クアトロ)						
組成会社(運用会社)	ピクテ・ジャパン株式会社						
販売委託元	ピクテ・ジャパン株式会社						
金融商品の目的・機能	<ul style="list-style-type: none"> ●ファンドは、投資信託証券への投資を通じて実質的に日本を含む世界の株式および債券等への投資ならびにデリバティブ取引を行うことにより信託財産の成長を図ることを目的に運用を行います。 ●様々なアセット・クラス(資産)への分散投資と投資戦略を活用し、市場環境に応じて資産配分を機動的に変更することにより、「負けない運用※」を目指すファンドです。 ①分散投資の徹底 ②魅力的な運用戦略へ投資 ③機動的に資産配分を変更 ④最新の投資手法も活用 ※「負けない運用」とは、下落リスクを低減しつつ中期的に安定した収益を獲得する運用をいいます。 						
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	<p>組成会社(運用会社)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この商品は、中長期での資産形成を目的とした方で、主要投資対象や運用内容について十分な知識や経験があるか、もしくは説明を受けることにより理解いただける方を想定して商品を組成しております。 ・この商品は、一定程度の収益を求め、ある程度の元本割れリスクを許容する方向けの商品です。 <p>ピクテの投資カテゴリー：当ファンドは「欲張らない投資」に分類されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■インフレ率程度のリターンで十分 ■目標リターンは物価上昇率(現在は日銀の掲げる2%)を上回る ■2年以上5年以内で投資できる資金 <p>https://www.pictet.co.jp/basics-of-asset-management/basics/moneyegg.html</p> <hr/> <p>当社(販売会社)：</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上記を踏まえ、運用実績および配分方針もご参考に購入をご検討ください。 <p>〈ファンドリスク(2025年3月末現在)〉</p> <table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5*</td> </tr> </table> <p>小 ← TOPIX → 大</p> <p>(注)(株)QUICKがファンドの価格変動リスクをTOPIX(東証株価指数)との相対評価を6段階で表したものです。詳細は裏面に記載のQUICKファンドリスクをご参照ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●当ファンドは、運用で得た利子、配当などや値上がり益を再投資することによって、複利効果による中長期的な資産の成長を目指す商品です。そのため、定期的な分配金のお支払いを抑制します。 	1	2	3	4	5	5*
1	2	3	4	5	5*		
パッケージ化の有無	<ul style="list-style-type: none"> ●パッケージ化：あり ●この金融商品はパッケージ化商品であり、マザーファンドを通じて複数のファンドを組み入れるファミリーファンドです。マザーファンドはファンド・オブ・ファンズとなります。投資先のファンドは個別に購入することはできません。 						
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ(契約日から一定期間、解除できる仕組み)の適用はありません。						

右のようなご質問があればお問い合わせください。

- ①あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
- ②この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
- ③この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績(本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります)

損失が生じるリスクの内容	<ul style="list-style-type: none"> ●価格変動リスク ●信用リスク ●為替に関するリスク・留意点 ●ロング・ショート戦略によるリスク ●カントリーリスク ●取引先リスク ●流動性リスク
[参考]過去1年間の収益率	3.8% (2025年2月末現在)
[参考]過去5年間の収益率	平均2.1% 最低-10.9% (2022年12月) 最高11.0% (2024年10月) (2020年3月~2025年2月の各月末における直近1年間の数字)

※損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「投資リスク」の項目に記載しています。

右のようなご質問があればお問い合わせください。

- ④上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- ⑤相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

3 費用(本商品の購入または保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用(販売手数料など)	<p><1万口あたりの金額></p> <p>基準価額に対して1.65%(税込)を乗じて得た額</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上記の申込手数料率を上限とします。ただし、申込手数料割引サービスなどを別に定める場合はこの限りではありません。
継続的に支払う費用(信託報酬など)	<ul style="list-style-type: none"> ●実質的に負担する運用管理費用は、概算で最大年率2.0%(税込)程度(注)に指定投資信託証券の成功報酬(適用されない場合もあります。)が加算された額となります。 (注) ファンドは市場環境により積極的に組入比率の見直しを行いますので、実際の投資信託証券の組入状況により変動します。なお、2025年2月末日現在の資産配分比率に基づいた試算値は、年率1.72%(税込)程度です。 ●信託事務に要する諸費用：信託財産の純資産総額の年率0.055%(税抜0.05%)相当を上限とした額が毎日計上されます。 ●その他の費用・手数料等：実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率、上限額等を示すことができません。



裏面も必ずご確認ください

運用成果に応じた費用
(成功報酬など)

ありません。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」の項目に記載しています。

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

▶ ⑥私がこの商品に〇〇万円を投資したら、それぞれのコストが実際にいくらかかるのか説明してほしい。
⑦費用がより安い類似商品はあるか。あればその商品について説明してほしい。

4 換金・解約の条件(本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります)

- この商品の償還期限はありません。ただし一定の条件により繰上償還する場合があります。
- この商品をお客さまが換金・解約する場合には、信託財産留保額はかかりません。
- 信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金には制限を設ける場合があります。
- 金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受け付けを取消すことがあります。

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「お申込みメモ」および「ファンドの費用」の項目に記載しています。

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

▶ ⑧私がこの商品を換金・解約するとき、具体的にどのような制限や不利益があるのかについて説明してほしい。

5 当社の利益とお客さまの利益が反する可能性

- 当社がお客さまにこの商品を販売した場合、当社はお客さまが支払う信託報酬のうち、組成会社などから年率0.77% (税抜0.7%) の手数料をいただきます。これは運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価です。
- 当社は、この商品の組成会社との間で資本関係などの特別の関係はありません。
- 当社の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品の販売より高く評価されるような場合はありません。

※利益相反の内容とその管理方針については、当社ホームページの「利益相反管理方針(概要)」をご参照ください。

<https://www.smtb.jp/general/management>

右のようなご質問があれば
お問い合わせください。

▶ ⑨あなたの会社が得る手数料が高い商品など、私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先した商品を私に薦めていないか。私の利益よりあなたの会社やあなたの利益を優先する可能性がある場合、あなたの会社では、どのような対策をとっているのか。

6 租税の概要(NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください)

- 分配時：配当所得として課税されます(普通分配金に対して20.315%)。
- 換金(解約)時および償還時：譲渡所得として課税されます(換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)に対して20.315%)。
- 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法などにより異なる場合があります。法人の場合は異なります。
- 税法が改正された場合などには、税率などが変更される場合があります。税金の取り扱いの詳細については、税務専門家などにご確認されることをお勧めします。
- この商品の当社での取り扱いには以下の通りです。

NISA成長投資枠

×

NISAつみたて投資枠

×

iDeCo

×

(2025年5月現在)

※詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「税金」の項目に記載しています。

7 その他参考情報(契約にあたっては、当社Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください)

- 販売会社(当社)が作成した「契約締結前交付書面」および組成会社が作成した「交付目論見書」

https://fwg.ne.jp/fund/services?_ControllID=TS25Control&_PageID=TS25503&_ActionID=LatestProspectusPdf4&compCd=AVF&tsnKyukiCd=4231113C&reportType=TK

※PDF形式でまとめて
掲載しています。



- 質問事例に関する回答は、別紙にまとめております。こちらよりご確認ください。

<https://www.smtb.jp/-/media/tb/personal/saving/investment/keyinformation/pdf/qa.pdf>



【QUICKファンドリスク】ファンドの価格変動リスクをTOPIX(東証株価指数)との相対評価を6段階(1, 2, 3, 4, 5, 5*)で表したものです。ファンドの過去3カ月、6カ月、1年、2年、3年、4年、5年の各期間の標準偏差とTOPIXの標準偏差との対比を平均して評価したもので、4カ月以上の運用実績のあるファンドを対象としています。ファンドのリスクの大きさ(標準偏差の値)そのものを表すものではありません。

【QUICK提供情報 ご利用上の注意】本情報は、投資判断の参考としての情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的にしたものではありません。本画面および本情報に関する著作権を含む一切の権利は、三井住友信託銀行株式会社、株式会社QUICKまたはその提供元(「情報源」)に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本情報は過去の実績に基づくものであり、将来の実績を保証するものではありません。本情報を利用することによって、または、利用できないことによって生じたいかなる損害についても、三井住友信託銀行株式会社、株式会社QUICKおよび情報源は、一切の責任を負いません。本情報は、閲覧者ご自身ののためにのみご利用いただくものとし、有償、無償を問わず、第三者への提供は禁止します。また、本情報の内容について、蓄積、編集加工、二次加工を禁じます。

投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧ください。
(2025年5月16日現在)